

# 営農情報(令和6年9月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

## ■温州みかん

### ◇仕上げ摘果

- 品質向上のため、後期重点摘果する場合、果実の表面が滑らかになった頃が適期となり、早生の場合、9月上中旬、普通・高糖系では9月下旬頃となる。
- 小玉果や内・裾なり果、傷果など低品質果実を摘果し、青果率の向上をはかること。
- また、原料向けとなる果実の収穫は、不要な出費につながるので収穫作業の効率化のためにも樹上選果で取り除いておくこと。

### ◇高糖系温州の浮皮軽減対策

	使用時期	浮皮軽減剤
普通・高糖系	9月上旬	ジベレリン3～3.3ppm + ジャスモメート液剤2000倍

※散布は果実中心に行い、葉先からしずくが落下する程度。

- セルバインの葉面散布

※着色期までに300倍で2～3回散布(黒点病薬剤に混用可)。

## ■初秋・秋肥の施用

- ゆず・・・9月中旬にチツソ成分で10kg/10a(例:ゆず配合=90kg)
- キウイフルーツ・・・9月中旬にチツソ成分で4kg/10a(例:キウイ配合=50kg)

## 【病害虫防除】

### ★果樹カメムシ被害に注意★

温州みかんでは、特に極早生や早生は被害が大きくなりやすく、またカキの被害は常態となっており、キウイフルーツにおいても注意が必要です。園地への飛来が認められたときには相当数が生息しているので、農薬防除により被害軽減を図ってください。夜行性のため、夕方散布が効果的です。

### 温州みかん

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
9月 中下旬	黒点病 (早生系)	ジマンダイセン(水)または ペンコゼブ(水)	600	30日	4回以内
		ナティーボ(フ)または ストロビー(ド)	1,500 2,000	前日 14日	3回 〃 3回 〃
		ランマン(フ)または アリエッティ(水)	2,000 400	前日 前日	3回 〃 3回 〃
発生前	褐色腐敗病	※アリエッティは着色初期の高温時散布を避ける。			
発生時	カメムシ類	スタークル(顆)または ロディー(乳)	2,000 2,000	前日 7日	3回 〃 4回 〃

### ゆず

9月 中下旬	黒点病	ナティーボ(フ) または ファンタジスタ(顆)	1,500 2,000	前日 14日	3回以内 3回 〃
		ミカンハダニ	1,500 6,000	7日 7日	1回 1回

### かき

9月上旬	炭疽病 うどんこ病	ストロビー(ド)	3,000	14日	3回 〃
発生時	カメムシ類	スタークル(顆)または アクタラ(顆)	2,000 2,000	前日 3日	3回 〃 3回 〃

### キウイフルーツ

9月 中下旬	クワシロカイガラムシ幼虫	アプロード(水)または モスピラン(顆)	1,000 2,000	前日 7日	2回 〃 3回 〃
		発生時	カメムシ類	2,000 2,000	7日 前日

## ■水稻

### ◇水管理

- ・収穫前まで間断かん水で管理しますが、落水は刈取作業に差し支えない限り遅らせます。(登熟を良くし、実張りを良くするため。)

### ◇収穫・乾燥

- ・収穫適期は、籾の80～85%が黄化した時期。
- ・玄米水分は、14.5%を目標とし、急激な乾燥、過乾燥は避ける。

## ■秋冬野菜(なのはな、はくさい、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、レタス 共通)

### ◇土づくり

- ・堆肥または発酵鶏ふん、苦土石灰、BMようりんなどの土壌改良資材を定植2週間前までに全面施用し、よくなじませる。

### ◇育苗

- ・セル苗の場合、愛菜2号等の専用培土を使う。
- ・かん水は朝のうちにたっぷり、夕方は控えめにする。
- ・育苗期間中はアブラムシ、アオムシ等を徹底防除する。
- ・本葉が1枚展開したら、液肥を5～7日おきに施用して肥切れさせない。

### ◇元肥

- ・植付け前にNPKを含む化成肥料を施し、耕うん、畦立てをする。
- また、耕うん時にネキリムシ、コガネムシ対象の殺虫剤(粒)を混和しておく。

### ◇定植

- ・本葉2～3枚で定植し、活着までは十分に灌水する。
- ・定植後、アブラムシ対象の殺虫剤(粒)を株元に散布し、初期の虫害を防ぐ。



## ■仮設トイレへの補助金について■

勝浦町農業振興対策事業のメニューの1つとして「農業労働者確保支援事業」が令和6年度から追加されました。この補助メニューについては、町内若手農家から要望があり、今年度に実現したものです。

補助内容は、【仮設トイレのリース料を助成すること】により、農作業アルバイトの応募の障害を少しでも無くすことを目的としたもので、事業費の2/3以内を4万円を上限に助成するものです。

農作業におけるトイレ問題は、特に女性に深刻で、「トイレがない農作業には応募したくない」という方も多くおり、実際に、トイレの度に作業を止めて家まで帰る方、トイレに行けないので水を飲まない方などの話も多く聞きます。

これからみかん収穫が始まると人を多く雇う機会もあるかと思いますが、この機会に補助金を使って「農場にトイレがないのは当たり前」から「トイレがある農場」にしてみませんか？

### <お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA農業振興戦略実践課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768